

卒業演習(日本史6)－Ⅱ

科目ナンバリング SEM-412
選択必修 2単位

山下 須美礼

1. 授業の概要(ねらい)

江戸時代後期から明治初年にかけての様々な歴史的事項に関するテーマを、それぞれの受講者が自分の関心に基づき設定し、それに関わる書籍・論文・史料を徹底的に調査してまとめ、発表する。発表の準備を通して参考文献や論文の探し方、史料の扱い方や読解方法を学びつつ、当該時期の政治状況や社会状況についても理解を深める。発表の進行は受講者が順番に務める司会担当が行い、その他の受講者はテーマについての予習を元に議論に積極的に関わる。

2. 授業の到達目標

- ・課題設定および文献や史料の探索、読解、分析を通して、歴史学の方法論を修得する。
- ・近世史料の読解力や分析力を修得する。

3. 成績評価の方法および基準

- ①発表担当の際の準備度合いおよびその発表内容(40%)
- ②司会担当の際の準備度合いおよびその進行内容(10%)
- ③毎回の報告に対する予習および質疑等による参加度合い(20%)
- ④秋期末のレポート(30%)

4. 教科書・参考文献

参考文献

藤田寛 日本の時代史 17 近代の胎動 吉川弘文館
井上勲 日本の時代史 20 開国と幕末の動乱 吉川弘文館
平川新 全集日本の歴史 第12巻 開国への道 小学館
田中彰 日本の歴史⑮ 開国と倒幕 集英社
浪川健治・古家信平 江戸ー明治 連続する歴史 藤原書店

5. 準備学修の内容

- ・発表者以外は、発表者が事前に通知する参考文献等に目を通してくる。
- ・発表者以外にも、毎回の発表テーマについて簡略な予習レポートを課す。

6. その他履修上の注意事項

- ・毎回の予習は必須である。
- ・各回テーマについての基礎的な情報を調べた上で授業に参加すること。
- ・議論への参加も必須。

7. 授業内容

- 【第1回】 ガイダンス(各自設定テーマの報告・授業の進め方)・報告順番決定
- 【第2回】 各自の調査計画作成
- 【第3回】 各自の先行研究・史料探索の経過報告
- 【第4回】 各自の調査の経過報告
- 【第5回】 発表と質疑応答①
- 【第6回】 発表と質疑応答②
- 【第7回】 発表と質疑応答③
- 【第8回】 発表と質疑応答④
- 【第9回】 発表と質疑応答⑤
- 【第10回】 発表と質疑応答⑥
- 【第11回】 発表と質疑応答⑦
- 【第12回】 発表と質疑応答⑧
- 【第13回】 発表と質疑応答⑨
- 【第14回】 発表と質疑応答⑩
- 【第15回】 発表と質疑応答⑪および授業のまとめ